

KaNAM NEWS

9 September

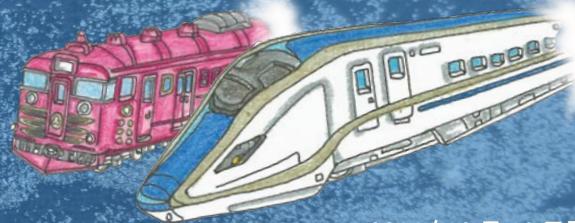
KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM
Whitestone Art Foundation

初秋の星空

～長月や 星降る夜空に 銀河鉄道～

i MUSEUM

- 松本零士展 / 六つの個展 作家入替
キュレーターコラム
- #3 北川健次 「ヴァレリーの鳥籠—52面体が開かれる前に」展
- #2 内田有 『POP JUNKY/ポップ・ジャンキー』展
次回予告 10/1~10/27
- #3 O-Jewel 『HOLLAND JAPONISM』展 #2 相場るい児『残響』展
- 松本零士公式グッズ
- メーカーーズディナー開催
- 1日1組様の限定ウエディング
- KaNAM 友の会



2014年9月10日発行

i MUSEUM

■六つの個展 9月23日(火・祝)会期終了

展示作家:草間彌生 サイトウ・マコト 千住博 奈良美智 舟越桂 井上有一

一年間お楽しみいただきました「六つの個展」ですが、10月から趣をかえます。現展示は9/23で終了です。

お見逃しなきよう、皆様のご来館をお待ちいたしております。

■松本零士展 一宇宙を望む人々 9月13日(土)~11月3日(月)

漫画界の巨匠、松本零士が創造する“宇宙”は、未来の空想世界を指すものだけでなく現実を生きる我々に向けた未来へのメッセージも込められています。今展覧会では直筆原稿や一枚絵の展示もあり、松本零士の世界観に触ることができます。

◇松本零士来場 トークショー&サイン会・撮影会

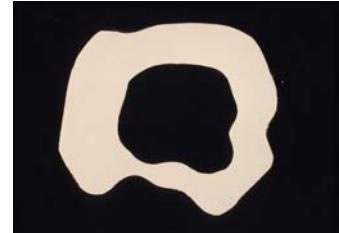
9月21日(日) 午後3時~

※会場スペースに限りがあります。ご了承ください。

■開館3周年記念

ジャン=ミシェル オトニエル
愛の遺伝子展 “DNA of LOVE”

ムラーノガラスをつかった立体作品6点とドローイング15点を展示。“こころ”を表現するハート型の作品、ラカンの結び目に影響を受けたとされる“結び目”的作品。グラデーションが織りなす輝きは見るものを魅了します。オトニエル作品を国内で一挙にご覧いただけるのは当館のみです。



吉原治良『無題』 25.2×33.3cm 紙・インク

■美術館情報 六つの個展－2人はニューアート－ 今後の作家入替予定

◇10月1日(水)~『具体人in Karuizawa』

吉原治良展、向井修二展、鷺見康夫展、上前智祐展

1954年吉原治良を中心に関西の若手前衛作家により結成された具体美術協会。時を越え現代において再び輝きを増し高い評価を得ている「具体」作家たちの具体時代～具体解散後までにスポットをあてる展覧会。

キュレーターコラム

学芸員 鈴木一史

スター・システム(star system)というものを知っていますか?

松本零士のSF作品は、ひとつの宇宙世界として繋がっています。各作品を独立したストーリーとして読むこともできますが、別の作品を読むことで、他の作品の謎の部分が埋まったり、別のストーリーが始まったりします。別の作品の登場人物が“重要な脇役”として登場することで、物語に盛り上がりが与えられます。松本零士が創り出す宇宙はひとつです。各作品では、タイトルこそ違えども同じ宇宙を舞台に起こる出来事を特定の人物に焦点を当てて描いているので、同じ物語だと言えます。

例えばこういうこと…『宇宙海賊キャプテンハーロック』で主人公ハーロックの無二の親友である大山トチローは、本劇中では故人であり海賊戦艦アルカディア号の心として宿っている。この大山トチローを愛していたのが『クイーン・エメラルダス』主人公のエメラルダスで、そのエメラルダスは『銀河鉄道999』のメーテルの実のお姉さん。また、メーテルと旅をした星野鉄郎の持つ武器コスマドラグーンは宇宙に4挺しかない“戦士の銃”で大山トチローが作ったもの。

さらには…『銀河鉄道999』のエターナル編では、メーテルと鉄郎、車掌さんの乗る999号の横を宇宙戦艦

ヤマトが通り過ぎていったりもします。もちろん波動砲も発射します。

“世界”展 「～の世界」という名前の展覧会がよく開催されていますが、作家が創り出した個々の作品を集める形での“世界観”にすぎないように思われます。しかし松本零士の世界は、本当の意味で作家の創り出した“世界”であると言えるのではないかでしょうか。当館で開催されています「松本零士展－2人はニューアート－」は、言いかえると「松本零士の“世界”展」となるのです。

ラーメンとライス、一緒に食べませんか?



ii GALLERY

開催中の個展 9月3日(水)～9月29日(月) 10:00～18:00(最終日15時まで)火曜休館

北川健次

「ヴァレリーの鳥籠—52面体が開かれる前に」展

『美の侵犯—蘿村×西洋美術』刊行記念 @gallery 3

オブジェ、ミクストメディア、コラージュ、詩、美術評論と旺盛な表現活動で注目を集める北川健次。中でも銅版画とオブジェの分野においては第一人者の存在。

今展では著書刊行記念展としてオブジェ、コラージュを主とした作品約60点ほか、銅版画や写真作品も展示しています。



次回予告

O-Jewel @gallery 3

『HOLLAND JAPONISM』展 10月1日(水)～10月26日(日)

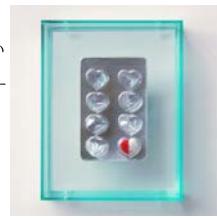
～時空を超えて和紙が繋ぐ
世界への美のメッセージ～
日本でしか作ることのできない「雁皮」という和紙に魅了された、オランダ生まれのアーティストたちが、過去と未来を繋ぎ「今」という時間を織りなす物語。
今展では12名のアーティストによる美濃和紙でつくる美しく繊細なジュエリーを発表します。



内田有

『POP JUNKY/ポップ・ジャンキー』展 @gallery 2

アイスキャンディーやカプセルをモチーフにガラス铸造法を用いて制作。現代社会の問題をコンセプトとし、特に「消費社会」と「地球温暖化」をテーマに表現しています。一見ポップでかわいい形状の中にアイロニーを織り交ぜた鋭い感性が魅力です。今展では新作カプセル型作品を含む20～30点をご覧いただけます。



相場るい児

『残響』展 10月1日(水)～10月27日(月)

細密陶芸という伝統文化を継承しつつ、寓話性の高い個性溢れる作品を発表し続ける異才、相場るい児の作品展です。今展では、人形、妖怪、動物などをモチーフにした様々な作品が、囁きあうような、あるいはそこに在るざわめきが「残響」となり広がります。



v Wedding

1日1組様の
限定ウェディング



ありきたりの結婚式ではなく、おふたりのご要望を一から伺ってウェディングコンセプトを提案させていただくスタイルです。式を挙げられたおふたりのために、作家が描いたオリジナルの絵画をクリッショングの絵柄にして作成した引出物。引菓子は当館パティシエのレシピから考案し9種類からゲストに合わせてセレクトしました。

♡来春 ガラスのチャペルが誕生します！
その名も「風通る白樺と苔の森教会」ご予約承ります。

☎ 0267-46-8515

営業時間

11：00～18：00

定休日：毎週火曜日

Mail : customer@newartwedding.jp

HP :

<http://www.newartwedding.jp>

iv Ristorante Pietrino

■ メーカーズディナー開催

ワイン生産者を囲んでのディナーをお楽しみいただく企画です。



9月20日(土)18:30～

¥9,500 産地:ロンバルディア州

フランチャコルタの生産者

“Le Marcheshine”的ワイン

北イタリア料理

10月23日(土)20:00～

¥9,500 産地:トスカーナ州

キャンティの生産者

“Poggio Tondo”的ワイン

トスカーナ料理

TEL:0267-46-8499



iii SHOP

「松本零士展—宇宙を望む人々」開催に伴いミュージアムショップでも公式グッズや関連書籍を多数販売します。昔からのファンは勿論、松本零士先生初心者の方も、来館記念にぜひお買い求めください。来たれ！遙より松本零士を愛する大きな子どもたちよ!!

vi OTHERS

カナム友の会とは KaNAMの理念に同意し、KaNAMの活動をサポートするボランティア団体です。

◆カナムではただいま「友の会」入会キャンペーンを実施中です。2014年12月までにご入会の方に図録「軽井沢の風展」or「草間彌生 わたし超スキッ!!」いずれか一冊と、もれなく小説「葛飾北斎ひとりごと画狂人の漫画人生三十六景」山元清則著 をプレゼント！

◇年会費 3,500円 入会日から一年間有効

◇特典 ①企画展の入場料が一年間無料(会員本人様) ②KaNAMで販売する絵画、ショップ商品10%割引
③併設レストラン「ピエトリー」飲食代10%割引 ④企画展開催時のVIPレセプションご招待
⑤KaNAM主催ツアーやイベント優待的にご案内

本年秋より、KaNAMはますます企画展が面白くなります。友の会入会で企画展3回ご覧になれば年会費以上のメリットが！

しかも---例えば1階ギャラリーで作家作品を購入すると、これまた一割引きです！

いろいろな「美」に最接近するまたとないチャンスです。

軽井沢ニューアートミュージアム ☎ 389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5 火曜定休(祝日の場合は翌日休館)

Tel: 0267-46-8691 / Fax: 0267-46-8692 / Mail: pr@knam.jp / HP: <http://knam.jp>

Ka NAM NEWS 9 Ka NAM NEWS 9

編集後記

一年間お楽しみいただいた「六つの個展—二人の絆—」展が展示替えです。それに異才を放つ作家の芸術との出会い、そこに集う人との出会い。美術館という“交差点”には、様々な行き先とその向こうにある未来が多くの出会いと共に待ち受けます。次の展示も楽しみです。

さて、8月末のある日、関東の高校生50名ほどが美術館に来てくれました。美術を専攻している学生さんたち。

KaNAMは彼らの未来に何某か役立つ“交差点”になれたでしょうか？

Ka NAM
KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM